

2022 年度 学校法人 三幸学園 千葉ビューティー＆ブライダル専門学校 自己評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 高岡 利和

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、ビューティー分野の学校として「人を美しくすることで人を元気にし、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、ビューティー分野として「お客様を美しくすることで感謝される、サロン・組織を活性化できる(皆をハッピーにする)人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

コロナ禍において、感染対策をしつつ、授業ではグループワークや能動的な学習に取り組んだ。

成果としては、教員が一丸となって美容・ブライダル従事者像を具体的にイメージさせながら学校生活を過ごせることが出来るよう授業での工夫を行うことにより、生徒の意欲の向上につながった。

退学率減少、実習に向けた指導内容の充実、卒業生へのサポート支援体制の構築、ボランティア活動の活性化等を課題として取り組む必要がある。

産学連携に関しても、生徒の学びを深めることは継続して行っていく必要がある。

② 学校関係者評価委員会コメント

特になし

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4

① 課題

- ・三幸学園の「教育理念」「目指す人物像」をもっと浸透させる必要があると思われる。

② 今後の改善方策

- ・保護者説明会(オンデマンド)を実施する。生徒へはスタートアッププログラムやホームルームで浸透を図る。
- ・教職員へは、全体会議や研修にて浸透を図る。

③ 特記事項

- ・教育理念、目標、人材育成を体系化し全教職員への浸透を図る。
- ・「あきらめない教育」を配布し全教職員を対象に研修を実施。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

① 課題

- ・パワーポイント等を活用した授業展開。
- ・グループウェアを活用した情報共有の推進。
- ・勤怠関係(残業時間)

② 今後の改善方策

- ・パワーポイントを使用した授業を推奨。
- ・SankoGate の活用推進。
- ・各担当校務を把握し、労務管理をしっかりと行う。

③ 特記事項

なし

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

- ・授業力、実践力の更なる向上。
- ・教務力アップ。
- ・技術力向上及び技術統一。

② 今後の改善方策

- ・授業見学の実施。
- ・教務研修の実施や授業アンケートの結果を把握しスキル向上を図る。
- ・VR を用いたり、定期的な教科会の実施。

③ 特記事項

なし

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格（免許）取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	4
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

- ・退学者の低減。
- ・卒業後の就労状況の把握。

② 今後の改善方策

- ・スクールカウンセラー周知、体制作り。
- ・チーム担任による生徒面談。
- ・心理テストを活用したクラス運営。
- ・卒業生及び就職先との連携。

③ 特記事項

- ・チーム担任制で、1クラスに対しての複数名の担任が生徒と関わりを持つことで、より生徒の状況を把握し、退学防止につなげている。

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	4
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

- ・在校生と担当教員との連携。
- ・保護者を巻き込んだの生徒指導。
- ・卒業生との連携及び支援体制の強化。

② 今後の改善方策

- ・教職員による就職サポート
- ・早い段階での保護者連携。
- ・同窓会 LINK の情報発信と活用。

③ 特記事項

なし

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	4

① 課題

- ・コロナ禍の実習先の確保。
- ・防災及び安全管理体制の浸透。

② 今後の改善方策

- ・実習先との密な情報共有。
- ・危機管理マニュアルの周知。
- ・避難場所の再確認

③ 特記事項

- ・避難訓練の実施。

(7)学生の入入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

・教務と広報の連動を意識した広報活動。

② 今後の改善方策

・デジタルテキストや VR を使用した魅力的授業等を広報活動で適正に伝える。

③ 特記事項

なし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第2次中期計画（2018 年度～2022 年度）の達成状況等の公開と同時に、第3次中期計画（2023 年度～2027 年度）を公開する予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

・法令遵守の継続。

② 今後の改善方策

なし

③ 特記事項

なし

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

・コロナ禍でボランティアや地域貢献等する機会が減少していたが、出来るだけ経験させる機会を増やす。

② 今後の改善方策

・企業とのつながりを強化する。

③ 特記事項

なし

(11)国際交流(必要に応じて)

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	3
受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	3
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2
学内で適切な体制が整備されているか	3

① 課題

- ・留学生の入学者がいない

② 今後の改善方策

- ・入学希望者のニーズに合った対応が必要。

③ 特記事項

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

【國分委員】

自分の専門分野以外の資格も取れたことが良かった。様々な知識を習得することができたことが自分には大きな収穫だった。

「お客様を綺麗にする」ということが授業の目的ではあるが、自分の髪・メイクも授業内で学べると、就職活動や身だしなみなどを行えるので良いと思う。

オープンキャンパスのキャスト活動はとても活かされている。コミュニケーション能力を磨くことが出来た。

岩手出身なので、オープンキャンパスに来ることができず遠方の高校生にもキャスト活動を通じて、発信したいと思ったのがきっかけ。やって良かったと思っている。

他の学校ではプランナーはプランナーしか授業がなく、プランナーと美容の両方を学べるところがこの学校の良いところだと思う。（ブライダルプロデュース科）

【富永委員】

今後は退学防止を専門学校と連携してやっていきたい。（ブライダルプロデュース科）